

教科目標

社会福祉科

1. 養成目的

多様化・複雑化する社会の中で独創的かつ根拠に基づいた実践ができる、社会福祉士・精神保健福祉士を養成する。

2. 教育目標

様々な分野におけるフィールドワークを通して、社会人及び専門職としての姿勢、視点、考えを身につけることができ、かつ主体的に自己研鑽を行い知識・技術を身につけられる。

3. カリキュラム

教育内容	科 目	必修科目 選択必修科目 総単位数 (総時間数)
一般科目	キャリアプランニング 文章表現 コミュニケーション技法 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 地域連携プログラム指導 地域連携プログラム チャレンジプログラム指導 チャレンジプログラム 情報リテラシーⅠ 情報リテラシーⅡ ソーシャルワーク特別演習Ⅰ ソーシャルワーク特別演習Ⅱ ソーシャルワーク特別演習Ⅲ スクールソーシャルワーク論 滋慶選択科目 地域福祉応用実習指導 地域福祉応用実習 ※「滋慶選択科目」は選択科目	63 (1560)
専門科目	医学概論 心理学と心理的支援 社会学と社会システム 社会福祉の原理と政策 社会福祉調査の基礎 権利擁護を支える法制度 刑事司法と福祉 地域福祉と包括的支援体制 障害者福祉 社会保障 ソーシャルワークの基盤と専門職 ソーシャルワークの理論と方法 ソーシャルワーク演習 ソーシャルワークの理論と方法(精神専門) 精神医学と精神医療 現代の精神保健の課題と支援 精神保健福祉の原理 精神障害リハビリテーション論 精神保健福祉制度論 ソーシャルワーク演習(精神専門)Ⅰ ソーシャルワーク演習(精神専門)Ⅱ ソーシャルワーク実習指導(精神) ソーシャルワーク実習(精神) ソーシャルワークの基盤と専門職(専門) ソーシャルワークの理論と方法(社会専門) 福祉サービスの組織と経営 高齢者福祉 児童・家庭福祉 貧困に対する支援 保健医療と福祉 ソーシャルワーク演習(社会専門)Ⅰ ソーシャルワーク演習(社会専門)Ⅱ ソーシャルワーク実習指導(社会) ソーシャルワーク実習(社会)	93 (1920)
合 計		156 (3480)

※一般科目の「地域福祉応用実習指導」＋「地域福祉応用実習」
専門科目の「精神保健福祉援助実習指導」＋「精神保健福祉援助実習」は組み合わせで選択必修とする

※卒業に必要な単位数(時間数)：156単位(3480時間)

4. 学年・学期目標

1年	学年目標	ソーシャルワーカー及び社会人としての姿勢や視点を学び、主体的な行動と自身で考える力を身につける。
	前期目標	ソーシャルワークの基盤を学び、対人援助職に必要な基本的な姿勢を理解する。
	後期目標	チャレンジプログラムを通して、ソーシャルワーカーの役割及び社会福祉が展開される領域を理解する。
2年	学年目標	相談援助技術の実践を通して、クライアントの理解を深めるとともに、多職種連携・協働の必要性を理解し、ミクロレベルでの実践力を身につける。
	前期目標	講義・演習で学んだことを活用し、地域連携プログラムでクライアント及びクライアントを取り囲む環境の理解を深める。
	後期目標	身心及び社会的な観点からクライアントの課題を考察した上で、暗黙知を形式知へと変換することができる。
3年	学年目標	卒業研究および法定実習を通して、知識・技術・価値の統合を試みつつ、クライアントと地域の関係性を踏まえたメゾレベルでの実践ができる。
	前期目標	制度やシステムの横断的な学習及び、クライアント・施設・地域・法制度の繋がりと社会課題を発見するための論理的思考を身につける。
	後期目標	ソーシャルワーク実習を通して、支援計画の立案及び実践をすることができる。
4年	学年目標	国家試験合格力を身につけると同時に、即戦力となる資質を身につける。
	前期目標	これまで学んできた内容を体系化した上で、自身のソーシャルワーカー像をつくりあげ、根拠に基づいた実践をすることができる。
	後期目標	ソーシャルワーカーとして、自らのキャリアパスを考えると同時に、必要な知識と技術を考え自己研鑽に取り組むことができる。

5. 取得目標資格

資格名	必・選	認定団体	認定方法
社会福祉士受験資格	必	厚生労働省	指定科目を履修し、試験合格後登録。
精神保健福祉士受験資格	選	厚生労働省	指定科目を履修し、試験合格後登録。

6. 主な就職分野

就職分野	職 種
就労移行支援施設	職業指導員、生活支援員
就労継続支援施設	職業指導員、生活支援員
地域活動支援センター	指導員（精神保健福祉士等）
介護保険施設	生活相談員、支援相談員
地域包括支援センター	社会福祉士
児童福祉施設	指導員
母子生活支援施設	母子支援員
更生施設	生活指導員
一般病院	医療ソーシャルワーカー
精神科病院・診療所	精神科ソーシャルワーカー
障害者総合支援法に基づく各種障害福祉サービス事業	生活支援員、生活指導員、生活相談員等
精神保健福祉センター	精神保健福祉相談員（精神保健福祉士等）
公務員	社会福祉士・精神保健福祉士等の福祉専門職
保健所	精神保健福祉士

2026年度 教科課程

社会福祉科

1 年

区分	開講科目名	English	分類	必修 選択	授業 形態	単 位 数	時 間 数	学期別時間数		科目概要
								前期	後期	
一般 科目	キャリアプラン ニング	Career Planning	一般 科目	必修	講義	4	60	30	30	自らの目指す職業像に近づくための知識、スキルを高めると共に、課題と対策を自ら考え成長へと繋げる姿勢を身につける。
	文章表現	Basic Writing Skills	一般 科目	必修	講義	2	30	30		分かりやすく明確な文を書くための文章表現力を身につける。
	コミュニケー ション技法	Communication Skill	一般 科目	必修	講義	2	30	30		言語による意志疎通能力と非言語的な要素の活用したコミュニケーション技術を身につける。
	チャレンジプロ グラム指導	Seminar for Challenge Program	一般 科目	必修	演習	1	30		30	チャレンジプログラムに向けて実習施設に関する理解を深め、必要な知識・技術・法令等遵守について確認する。
	チャレンジプロ グラム	Challenge Program	一般 科目	必修	演習	5	150		150	さまざまな方を支援するための基盤となるコミュニケーション力を身につける。
	情報リテラシー I	IT Literacy I	一般 科目	必修	演習	2	60	30	30	社会人または対人援助職にとって必要な情報を正しく扱う知識や姿勢を身につける。
	ソーシャルワー ク特別演習 I	Social Work Developmental Exercise I	一般 科目	必修	演習	1	30	30		ソーシャルワークにおける知識・技術を体系的に学ぶための確認をする。
	滋慶選択科目	Elective SubjectS	一般 科目	選択	講義	1	15			多分野の知識・技術を習得するとともに、専門性を超えた交流の輪を広げ、人間性を豊かにすることにつなげる。
専門 科目	心理学と心理的 支援	psychology and Psychological support	社会 精神 指定 科目	必修	講義	2	30		30	人の心の基本的な仕組みと機能や人の成長・発達段階に特有の心理的課題を理解するとともに、日常生活と心の健康との関係、環境との相互作用の中で生じる心理的反応、心理学の理論を基礎としたアセスメントの方法と支援を理解する。
	障害者福祉	Support for the Challenged Person	社会 精神 指定 科目	必修	講義	2	30	30		障害者福祉の歴史と障害観の変遷、制度の発展過程を踏まえ、障害者に対する法制度と支援の仕組み、障害の概念と特性、障害者とその家族の生活とこれを取り巻く社会環境について理解する。また、障害による生活課題を踏まえた社会福祉士及び精神保健福祉士としての適切な支援のあり方を理解する。

区分	開講科目名	English	分類	必修 選択	授業 形態	数	単位 数	時間	学期別時間数		科目概要
									前期	後期	
専門科目	ソーシャルワークの理論と方法	Social Work Theory and Methods	社会精神指定科目	必修	講義	4		60	30	30	人と環境との交互作用に関する理論とミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークと、ソーシャルワークの様々な実践モデルとアプローチについて理解するとともに、ソーシャルワークの過程、記録、ケアマネジメント、集団を活用した支援、コミュニティワーク、スーパービジョンとコンサルテーションについて理解する。
	ソーシャルワーク演習	practice for Social Work	社会精神指定科目	必修	演習	1		30	30		ソーシャルワークの価値規範と倫理を実践的に理解するとともに、ソーシャルワークの実践に必要なコミュニケーション能力、ソーシャルワークの展開過程において用いられる、知識と技術を実践的に理解する。
	現代の精神保健の課題と支援	Contemporary Mental Health Issues and Support	精神指定科目	必修	講義	4		60	30	30	現代の精神保健分野の動向と課題を理解し、精神保健の保持・増進と発生予防のための支援及び専門機関や関係職種との役割と連携について理解する。
	精神保健福祉の原理	Principles of Mental Health Welfare	精神指定科目	必修	講義	4		60	30	30	精神保健福祉士が対象とする「精神障害者」の定義とその障害特性を構造的に理解するとともに、精神障害者の生活実態について学ぶ。また、精神疾患や精神障害をもつ当事者の社会的立場や処遇内容の変遷をふまえ、それに対する問題意識をもつ価値観を体得する。
	精神障害リハビリテーション論	Theory of Mental Disorder Rehabilitation	精神指定科目	必修	講義	2		30		30	精神障害リハビリテーションの概念とプロセス及び精神保健福祉士の役割について理解し、援助場面で活用できる。そして、精神障害リハビリテーションプログラムの知識を援助場面で活用できる。
	高齢者福祉	Elderly welfare	社会指定科目	必修	講義	2		30	30		高齢者福祉の歴史と高齢者観の変遷、制度の発展過程を理解した上で、法制度と支援の仕組み、高齢者の定義と特性を踏まえた高齢者とその家族の生活とこれを取り巻く社会環境、高齢期における生活課題を踏まえた社会福祉士としての適切な支援のあり方を理解する。
	児童・家庭福祉	Child and Family Welfare	社会指定科目	必修	講義	4		60	30	30	児童・家庭福祉の定義、児童の権利、歴史や法制度を理解した上で、児童・家庭に対する支援における関係機関と専門職の役割、支援の実態を理解する。
	貧困に対する支援	Support for Poverty	社会指定科目	必修	講義	2		30	30		貧困の歴史と貧困観の変遷について理解した上で、貧困や公的扶助の概念をふまえ、貧困状態にある人の生活実態とこれを取り巻く社会環境、貧困に係る法制度と支援の仕組み、社会福祉士としての適切な支援のあり方を理解する。
	ソーシャルワークの基盤と専門職	Social Work Basics and Specialization	社会精神指定科目	必修	講義	2		30	30		社会福祉士及び精神保健福祉士の法的な位置づけ、ソーシャルワークの概念や基盤となる考え方、形成過程や倫理について理解する。
	ソーシャルワークの基盤と専門職(専門)	Social Work Basics and Specialization(Specialized)	社会指定科目	必修	講義	2		30	30		ソーシャルワークに係る専門職の概念と範囲を理解するとともに、ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークや総合的かつ包括的な支援と多職種連携の意義と内容を理解する。
			必修科目 総単位数 (49)							必修科目 総時間数 (900)	

(履修科目の下限と上限) 1年間に履修する授業科目は、30単位以上60単位未満とする

2027年度 教科課程

社会福祉科

2年

区分	開講科目名	English	分類	必修 選択	授業 形態	単 位 数	時 間 数	学期別時間数		科目概要
								前期	後期	
一般科目	地域連携プログラム指導	Preparatory Class for Field Education Programs	一般科目	必修	演習	2	60	30	30	地域連携プログラムや学校行事等に関連した準備や振り返りを行うとともに、そのプロセスにおいて既習内容と関連させる。
	地域連携プログラム	Field Education Programs in Cooperation with Community Resources	一般科目	必修	演習	8	240	120	120	地域の施設で年間を通して実習を行うとともに、様々な団体等と連携し地域・社会の課題を解決する方法を身につける。
	情報リテラシーⅡ	IT literacyⅡ	一般科目	必修	演習	2	60	30	30	社会人または対人援助職にとって必要な情報を正しく扱う知識・技術を身につける。
	スクールソーシャルワーク論	School Social Work Theory	一般科目	必修	講義	2	30	30		今日の学校教育現場にスクールソーシャルワーカーを導入する意義とその必要性を理解する。
	滋慶選択科目	Elective Subjects	一般科目	選択	講義	1	15			多分野の知識・技術を習得するとともに、専門性を越えた交流の輪を広げ、人間性を豊かにすることにつなげる。
専門科目	社会福祉の原理と政策	Social Welfare Principles and Policies	社会精神指定科目	必修	講義	4	60	30	30	社会福祉の原理や歴史、思想・哲学・理論の学びをふまえ、現代における社会問題とその構造的背景を理解する。あわせて福祉政策の基本的な視点をふまえ、福祉政策のニーズや資源、構成要素と過程を理解するとともに、福祉政策の動向と課題と国際比較、関連施策、サービスの供給と利用過程を理解する。
	刑事司法と福祉	Criminal Justice and Welfare	社会精神指定科目	必修	講義	2	30	30		刑事司法の近年の動向と制度の仕組み、刑事司法に関する社会福祉士及び精神保健福祉士の役割や関係機関の役割について理解する。
	地域福祉と包括的支援体制	Community Welfare and Comprehensive Support System	社会精神指定科目	必修	講義	4	60	30	30	地域福祉の基本的な考え方、展開、動向、住民の主体形成の概念を理解するとともに、地域福祉を推進するための福祉行政の実施体制と果たす役割、地域福祉計画をはじめとした福祉計画の意義・目的及び展開を理解する。あわせて包括的支援体制の考え方と、多職種及び多機関協働の意義と実際について理解するとともに、地域生活課題の変化と現状を踏まえ、包括的支援体制における社会福祉士及び精神保健福祉士の役割を理解する。

区分	開講科目名	English	分類	必修 選択	授業 形態	単 位 数	時 間 数	学期別時間数		科目概要
								前期	後期	
専門科目	ソーシャルワークの理論と方法(精神専門)	Social Work Theory and Methods (MHSW Specialized)	精神指定科目	必修	講義	4	60	30	30	精神障害及び精神保健福祉の課題を持つ人に対するソーシャルワークの過程を学ぶ。また、精神医療、精神障害者福祉における多職種連携・多機関連携の方法と精神保健福祉士の役割について理解する。そして、精神保健福祉士と所属機関の関係を踏まえ、組織運営管理、組織介入・組織活動の展開に関する概念と方法について理解する。
	精神保健福祉制度論	Mental health Welfare System Theory	精神指定科目	必修	講義	2	30	30		精神障害者に関する法制度の体系について学ぶ。精神保健福祉法、医療観察法等の医療に関する制度の概要と課題、制度に規定されている精神保健福祉士の役割について理解する。そして、生活支援に関する制度の概要と課題、制度に規定されている精神保健福祉士の役割について理解する。
	ソーシャルワーク演習(精神専門) I	Practice for Social Work (MHSW Specialized) I	精神指定科目	必修	演習	2	60	30	30	精神疾患や精神障害、精神保健の課題のある人へのための諸制度、サービスについて、その概念と利用要件や手続きを知り、援助に活用できるようにする。また、精神疾患や精神障害、精神保健の課題のある人へのための関係機関や職種の役割を理解し、本人を中心とした援助を展開するチームが連携する際のコーディネート役を担えるようになる。
	ソーシャルワークの理論と方法(社会専門)	Social Work Theory and Methods (SW Specialized)	社会指定科目	必修	講義	4	60	30	30	ソーシャルワークにおける援助関係の形成、社会資源の活用・調整・開発、ネットワークの形成について理解するとともに、ソーシャルワークに関連する方法、カンファレンス、事例分析について学ぶとともに、ソーシャルワークにおける総合的かつ包括的な支援の実態を理解する。
	ソーシャルワーク演習(社会専門) I	Practice for Social Work (SW Specialized) I	社会指定科目	必修	演習	2	60	30	30	社会福祉士に求められるソーシャルワークの価値規範を理解し、倫理的な判断能力を養う。支援を必要とする人を中心とした分野横断的な総合的かつ包括的な支援について実践的に理解するとともに、地域の特性や課題を把握し解決するための、地域アセスメントや評価等の仕組みを実践的に理解する。
	ソーシャルワーク実習指導 I (社会)	Seminar for Field Education in Social Work (SW)-1	社会指定科目	必修	演習	1	30	30		社会福祉実践現場の現状と課題、ソーシャルワーク実習と実習指導の意義、ソーシャルワークに関わる知識、技術、実践現場で展開される支援業務や実習記録の作成方法、巡回指導の必要性等、実習全般に関する基本的な事項を学習する。
	ソーシャルワーク実習 I (社会)	Field Education in Social Works (SW)-1	社会指定科目	必修	実習	1	60	60		学校で学んだ知識を実践に用い、ソーシャルワークの技術を習得する。同時にその体験を言語化し、より実用的な知識へと昇華させる。また実践と考察を通して自身の支援者としての特質や課題を知り、ソーシャルワーカーとしての価値観を身につける。
			必修科目 総単位数 (40)						必修科目 総時間数 (900)	

(履修科目の下限と上限) 1年間に履修する授業科目は、30単位以上60単位未満とする

2028年度 教科課程

社会福祉科

3年

区分	開講科目名	English	分類	必修 選択	授業 形態	単 位 数	時間数	学期別時間数		科目概要
								前期	後期	
一般科目	卒業研究Ⅰ	Graduation Research I	一般	必修	演習	8	240	120	120	ゼミナール形式により、狭義の社会福祉実践に留まらない社会問題とその解消に向けた研究を行う。
	ソーシャルワーク特別演習Ⅱ	Social Work developmental Exercise	一般	必修	演習	1	30	30		ゼミナールにおいて専門的ソーシャルワーク研究を実践するとともに、国家試験対策を通して、知識を体系的に確認する。
専門科目	社会保障	Social Security	専門	必修	講義	4	60	30	30	現代社会における社会保障制度の課題等(少子高齢化と社会保障制度の関係を含む)について理解する。
	医学概論	Introduction to Medicine	専門	必修	講義	2	30	30		福祉専門職に必要とされる最低限の医療・医学的知識を習得する。特に多くの支援対象者に関わる疾病や健康上の課題およびその予防と対策、感染症対策等を学ぶ。
	社会学と社会システム	Sociology and Social Systems	専門	必修	講義	2	30		30	社会学の考え方やその対象、社会問題の捉え方について学び、社会福祉専門職に関わる現代社会における社会問題の構造・対処法を幅広く考察する。
	社会福祉調査の基礎	Basics of Social Welfare Survey	専門	必修	講義	2	30	30		社会調査の基礎と原理を学び、社会福祉実践に求められる社会調査の方法、手順とデータの分析法を具体的に学ぶ。
	福祉サービスの組織と経営	Organization and Management of Welfare Services	専門	必修	講義	2	30		30	福祉サービスにおける組織と経営の管理運営について学ぶ。また福祉サービスの組織と経営に関わる法令やサービスの向上、人事労務管理等の課題とその対処法を学ぶ。
	保健医療と福祉	Insurance Medical Care and Welfare	専門	必修	講義	2	30	30		医療保険制度の概要と保健医療サービスにおける各専門職の役割、連携について学ぶとともにソーシャルワーク専門職の職務職責についての理解を深める。
	ソーシャルワーク演習(社会専門)Ⅱ	Practice for Social Work(SW Specialized)Ⅱ	専門	必修	演習	2	60	30	30	ソーシャルワーク専門職に求められる相談援助の知識と技術、社会資源の組織化やネットワークング技法等を対話的・実践的な学習により習得する。
	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ(社会)	Seminar for Field Education in Social Work(SW)-Ⅱ	専門	必修	演習	2	60	30	30	社会福祉実践現場の現状と課題、ソーシャルワーク実習と実習指導の意義、ソーシャルワークに関わる知識、技術、実践現場で展開される支援業務や実習記録の作成方法、巡回指導の必要性等、実習全般に関する基本的な事項を学習する。

区分	開講科目名	English	分類	必修 選択	授業 形態	単 位 数	時 間 数	学期別時間数		科目概要
								前期	後期	
専門科目	ソーシャルワーク実習Ⅱ（社会）	Field Education in Social Works (SW)-Ⅱ	専門	必修	実習	4	180	180		・ソーシャルワーク実践に必要な各科目の知識と技術を統合し、社会福祉士としての価値と倫理に 基づく支援を行うための実践能力を養う。 ・支援を必要とする人や地域の状況を理解し、その生活上の課題への対応法を実践的に理解する。
	精神医学と精神医療	Psychiatry and Mental Health Care	専門	必修	講義	4	60	30	30	精神疾患の分類を把握するとともに、主な疾患の症状、経過、治療方法などについて理解するとともに、精神科病院等においてチーム医療の一員としての精神保健福祉士の役割を理解する。
			必修科目 総単位数 (35)						必修科目 総時間数 (840)	

（履修科目の下限と上限） 1年間に履修する授業科目は、30単位以上60単位未満とする

2029年度 教科課程

社会福祉科

4年

区分	開講科目名	English	分類	必修 選択	授業 形態	単 位 数	時間 数	学期別時間数		科目概要
								前期	後期	
一般 科目	卒業研究Ⅱ	Graduation ResearchⅡ	一般	必修	演習	1	30	30		ゼミナール形式にて、自ら設定した課題について専門的なソーシャルワーク研究を実践する。
	ソーシャルワーク特別演習Ⅲ	Social Work developmental ExerciseⅢ	一般	必修	演習	6	180	90	90	ゼミナールにおいて専門的なソーシャルワーク研究を実践するとともに、国家試験対策を通して、知識を体系的に確認する。
	ソーシャルワーク特別演習Ⅳ	Social Work developmental	一般	必修	演習	4	105	60	45	
	ソーシャルワーク特別講座Ⅰ	Social Work Developmental CourseⅠ	一般	必修	講義	6	90	30	60	
	ソーシャルワーク特別講座Ⅱ	Social Work Developmental CourseⅡ	一般	必修	講義	5	75	60	15	
専門 科目	権利擁護を支える法制度	Law System for Advocacy	専門	必修	講義	2	30	30		法の基礎とソーシャルワークと法の関わりを理解し、権利擁護の意義と支える仕組み、権利擁護に関わる組織、団体、専門職、活動において直面する法的諸問題、成年後見制度の概要を理解する。
	ソーシャルワーク演習（精神専門）Ⅱ	Practice for Social Work (MHSW Specialized)Ⅱ	専門	必修	演習	1	30	30		精神疾患や精神障害、精神保健の課題のある人々を取り巻く環境や社会を見渡し、こうした人々への差別や偏見を除去し共生社会を実現するための活動を精神保健福祉士の役割として認識し、政策や制度、関係行政や地域住民にはたらきかける方法をイメージできるようにする。そして、精神保健福祉士として考え、行動するための基礎を獲得し、職業アイ
	ソーシャルワーク実習指導（精神）	Seminar for Field Education in MentalHealth Social Work	専門	選択 必修	演習	3	90	90		実習施設に関する理解を深め、必要な知識・技術・法令等遵守について確認するとともに、現場で踏まえた体験を評価・総括し経験化できるようにする。 ※本科目選択者は、「精神保健福祉援助実習」も併せて履修する
	地域福祉応用実習指導	Preparatory Class for Advanced Field Education in Social Work	専門		演習	3	90	90		ソーシャルワーク応用実習に取り組む目標設定と事後学習を通して、知識・技術の定着ができるようにする。 ※本科目選択者は、「ソーシャルワーク応用実習」も併せて履修する
	ソーシャルワーク実習（精神）	Field Education in Social Work (MHSW)	専門		実習	4	210	210		精神保健福祉士としての倫理観を尊重し、専門知識及び技術について医療機関・福祉施設等での実習を学び、自ら実践することで精神保健福祉士の意義・役割について理解する。 ※本科目選択者は、「精神保健福祉援助実習指導」も併せて履修する
	地域福祉応用実習	Advanced Field Education in Social Work	専門		実習	4	210	210		福祉施設における実習を通して、ソーシャルワーク技術の実践力を高める。 ※本科目選択者は、「ソーシャルワーク応用実習指導」も併せて履修する
				必修科目・選択必修科目 総単位数 (32)					必修科目・選択必修科目 総時間数 (840)	

(履修科目の下限と上限) 1年間に履修する授業科目は、30単位以上60単位未満とする